

【直接支払制度を利用】

被保険者 (申請者) 情報	記号	番号	生年月日	年	月	日
	被保険者等の (右づめ)		<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和			
	氏名	(フリガナ)				
	住所	(〒 -)	都 道 府 県			
電話番号 (日中の連絡先)	TEL ()					

振込先指定口座 (被保険者口座)	金融機関 コード・名称	銀行コード: _____	銀行 金庫 信組	支店コード: _____	本店 支店 出張所 本所 支所
	預金種別	<input type="checkbox"/> 1. 普通 3. 別段 2. 当座 4. 通知	口座番号		左づめでご記入ください。
	口座名義	▼カタカナ(姓と名の間は1マス空けてご記入ください。濁点(°)、半濁点(゜)は1字としてご記入ください。)			口座名義 の区分
					<input type="checkbox"/> 1. 申請者 2. 代理人

「2」の場合は必ず記入ください。

受取代理人 (健保口) の欄	被保険者 (申請者)	本申請に基づく給付金に関する受領を下記の代理人に委任します。	令和 年 月 日
	代理人 (健保口情報)	住所 「被保険者(申請者)情報」の住所と同じ	
		(〒 -) TEL ()	
	住所	(フリガナ)	
	氏名		

「申請者・医師・市区町村長記入用」は2ページに続きます。>>>

※記入内容を訂正する場合は、被保険者が二重線で抹消し、正しい内容を記入し、被保険者氏名(フルネーム)を記入してください。修正液(テープ)等を使用しないでください。

受付日付印

社会保険労務士の
提出代行者名記載欄

被保険者氏名

申請内容

1 出産した者

1. 被保険者 2. 家族（被扶養者）

1 - ①

家族の場合はその方の

氏名

生年月日

 昭和
 平成
 令和

年 月 日

2 出産した年月日

 令和

年 月 日

3 生産または死産の別

1. 生産 2. 死産 3. 生産・死産混在

3 - ①

「生産」の場合出生人数

 人

3 - ②

「死産」の場合死産児数

 人

3 - ② - (1)

「死産」の場合妊娠経過期間

満 週

5 出産した医療機関等

名称

所在地

6 出産した方

●被保険者 → 退職後6ヶ月以内の出産ですか。
●家 族 → 当組合に加入後6か月以内の出産ですか。

1. はい 2. いいえ

6 - ①

「はい」の場合、『保険者名』と『記号・番号』をご記入ください。

●被保険者 → 現在加入している保険者について
●家 族 → 当組合加入前に加入していた保険者について

保険者名

記号・番号

6 - ① - (1)

同一の出産について、6 - ①の保険者より出産育児一時金を

1. 受けた／受ける予定 2. 受けない

添付資料

『出産育児一時金直接支払通知書』が健保からお手元に届いている方

添付資料は不要です。

『出産育児一時金直接支払通知書』が健保からお手元に届いていない方

1. 直接支払制度の合意文書（写）

2. 出産費用の領収・明細書（写）

3. 出生証明書（写）または母子健康手帳の出生届出済証明ページ（写） ※死産の場合は死産証明書（写）

※「3. 出生証明書（写）または母子健康手帳の出生届出済証明ページ（写）」が添付できない場合、下記のいずれかの証明が必要です。

証明欄（いずれかにご記入ください）

医師・助産師による
証明の場合

出産者氏名

出産年月日

 令和

年 月 日

出生児の数

 単胎 多胎 → (

児)

生産または
死産の別 生産 死産 → (妊娠

週)

上記のとおり相違ないことを証明する。

医療施設の所在地

令和 年 月 日

医療施設の名称

医師・助産師の氏名

市区町村長による
証明の場合(生産のみ)

本籍

筆頭者
氏名

母の氏名

出生児
氏名出生
年月日 令和

年 月 日

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日 市区町村長名

印